

ひと ひと えん
 セミナー「女と男の縁パーメント講座」
 [雑誌の中のジェンダー]より

「ジェンダー」が どんたのよ？

「ワァー！すごい」
 「こんなのが載ってるの！」
 「エエー、もっとまじめな本かと思ってた」
 一冊の週刊誌を、写真だけ切り抜いていく。「記事を読まずに、ひたすら「切り抜きマシーン」となること。何も考えないで」と言われても、女性参加者から思わずあがったのが前記の言葉。

これは、男女共同参画社会推進セミナー「女と男の縁パーメント講座」(11月30日(土)実施)で、「コラージュ」を作成したときのことです。4〜5人のグループで一冊の週刊誌から写真だけを切り抜き、1枚の

紙に「女性」だけの写真、「男性」だけの写真、「一緒に写っている」写真と分類し貼りつける。そして、それぞれの切り抜かれたをグループ内で話し合い発表するこれらの活動によって、「ジェンダー」という言葉がわからない人でも「何かおかしい」ということに気づいたようでした。

男性向けの雑誌だから？

今回は3冊とも男性向けの週刊誌で、

女性は

- ・ 10代〜20代
- ・ 全裸あるいは下着(水着)姿
- ・ 体の一部を強調するようなポーズ
- ・ 大きく、カラー写真が多い
- ・ 眼鏡をかけている女性は皆無

男性は

- ・ 幅広い年代で、有名人
- ・ スーツ、ユニフォーム姿
- ・ 記事がメインで、写真は付属程度
- ・ と、同じような傾向でした。

このことを、皆さんはどのように考えますか。

「男性向けの雑誌なので、仕方がない」ですか。

では、なぜ「仕方がない」のでしょうか。

男性の読者用に、目を向けさせる手段として「女性」を取り上げているし、また、女性向けの雑誌は女性用に編集されているようです。

〈3冊のうち1冊分〉

「コラージュ」による3冊の週刊誌の傾向



	女 性	男 性
写 真 の 量	多い	少ない
年 齢	ほとんどが10代〜20代	20代〜60代と幅広い
社会的地位 身分・職業	グラビアモデルが多い 一部俳優	スポーツ選手、芸能人、 政治家
知 名 度	すべての年代に知られているとは思われない人が多い	テレビ等で報道されている 有名人が多い
被写体の露出度・描かれ方	全裸、下着(水着)姿が多い 体の一部をアピールしているようなポーズ	顔写真が多く、スーツ姿や ユニフォーム姿
色 彩	ほとんどカラー	ほとんど白黒
そ の 他	若く、美しい(かわいい)人 カメラ目線 めがねをかけていない	記事の説明程度の写真

女性ならではの仕事と思われるお茶くみや料理、洗濯、育児など、よく考えてみて。男性だってできることだよな！
 逆に、男性の仕事だと思われることも、方法を変えれば女性にもできることもあるはず。「ジェンダー」に敏感な視点で「女性なみじ」「男性なみじ」と言わないで、できることはどちらがやってもいいように、こちらも楽なように選択肢を多くし実行していこう！
 そしたら、「男女共同参画社会」なんてかたっ苦しい言葉は必要なくなるよ、きっと!!

